

ドル円膠着からの次の一手

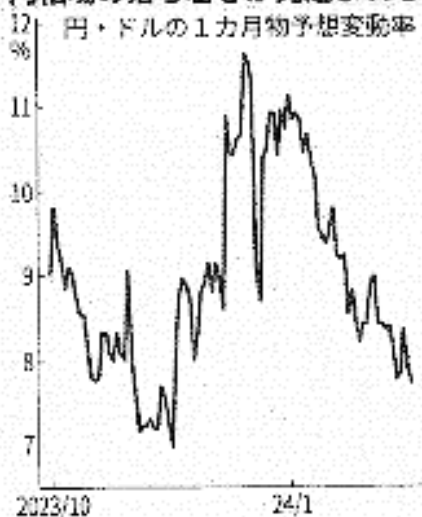


ドル円膠着と急変動の可能性の背景 (日本経済新聞の朝刊より)

円・ドル相場予想変動率 3ヵ月ぶり低水準 年率換算7.7%程度に

円・ドル相場の先行きの膠着を見込む動きが広がっている。15日の通貨オプション市場で1カ月物の円・ドル相場の予想変動率(ヘインプライドボラティリティ)は年率

円相場の落ち着きが見込まれる
円・ドルの1カ月物予想変動率



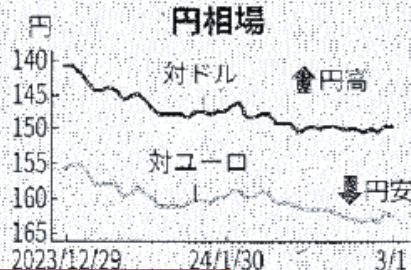
換算で7.7%程度と、2023年11月中旬以来おおよそ3ヵ月ぶりの低水準をつけた。

米連邦準備理事会(FRB)の早期利下げ観測が後押しし円売り・ドル買いが膨らみ、円相場は13日に一時1ドル150円台後半と23年11月以来の円安水準まで下落した。

ただ150円台では円安の勢いが鈍りつつある。岡三証券の武部力也シニアストラテジストは「政府・日銀が円買いを介入に動くとの警戒感があるため円売り・ドル買いを積極的に続けるのは難しいとの見方が、予想変動率の低下につながっている」と指摘している。

為替 円、対ドルで底堅く

今週の外国為替市場で円相場は底堅い展開となりそう。前週には一時1ドル150円80銭台まで下落した。日銀がマイ



岡三証券の武部力也シニアストラテジストは「5日のスーパージュースデーでドル安を志向する共和党のトランプ前大

ナス金利政策を解除した後も低い金利を維持するとの見方が広がり、円売り・ドル買いが入りやすい。151円に近づくと政府・日銀による為替介入への警戒感も強まり、利益確定目的の円買いが下値を支えるとの声が多い。

7日には欧州中央銀行(ECB)理事会がある。政策金利は据え置きが見込まれる。ラガルド総裁が記者会見で、市場が注目する利下げ開始時期に関して言及するかが焦点となる。

統領が候補指名の獲得を決めれば、ドル相場が今後の争点となる。ドルに下落圧力が強まりやすい」と指摘する。8日には2月の米雇用統計も公表される。

プログラム売買に伴う現物株売買と残高 (単位千株、百万円、4桁)

取引参加者別約定取引状況 2月29日～3月4日 (単位千株、百万円、4桁)

2月16日(金) 日本経済新聞朝刊23面 3月4日(月) 日本経済新聞朝刊13面

ドル円膠着からの次の一手



「デフレ」脱却「宣言」のあるなしがテーマに

(物価目標実現)そこまでは至っていない(植田日銀総裁 2/29)

政府「デフレ脱却」表明を検討 賃上げや物価見極め判断

(共同通信 3/2)

(デフレ脱却)現時点ではそのような状況に至っていない

(林官房長官 3/4)

(デフレ脱却宣言で)いま何か表明すること考えていない

(新藤経済再生相 3/5)

(政府がデフレ脱却を表明する検討に入ったとする一部報道に対し)

そのような事実はない(鈴木財務相 3/5)

デフレから脱却したとは考えていない(鈴木財務相 3/8)



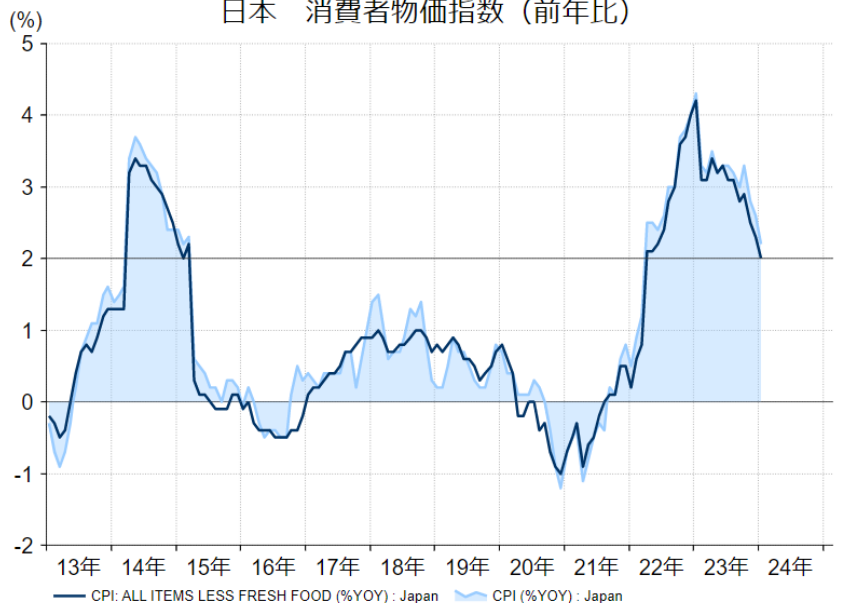
鈴木俊一

ドル円膠着からの次の一手

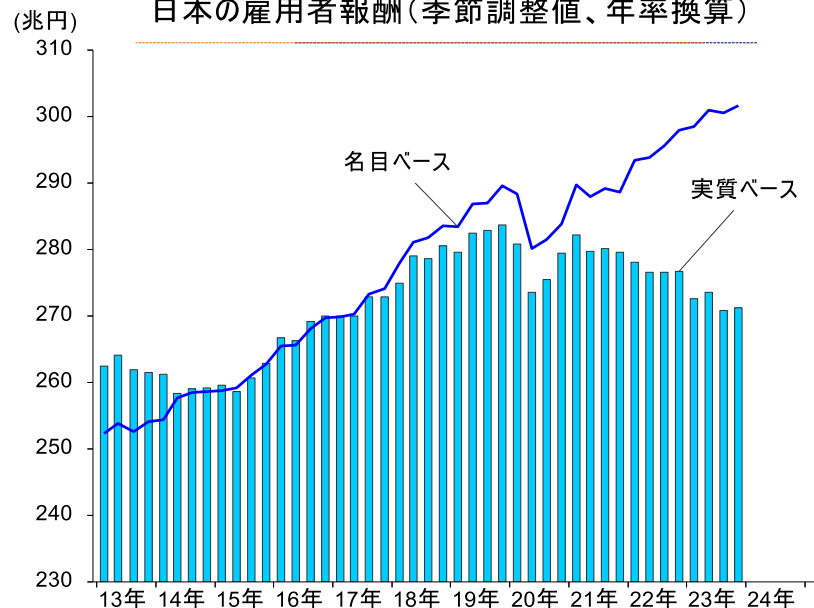


物価と賃金の好循環構築が目標

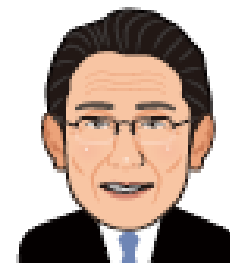
日本 消費者物価指数 (前年比)



日本の雇用者報酬(季節調整値、年率換算)



「物価高を上回る所得を年内に実現しなければならない」
(1月30日の施政方針演説 岸田首相)



岸田文雄

ドル円膠着からの次の一手



株価（≒岸田政権）に悪材料な策は打たない・・・



麻生太郎

菅義偉

茂木敏元

石破茂

小池百合子

上川陽子

二階俊博

岸田内閣・自民党支持率
低迷



河野太郎



高市早苗



小泉進次郎

7月東京都知事選挙

2024年3月

————— 4月

————— 5月

————— 6月



日銀会合 3/18-19

4/25-26

6/13-14

住民税・所得税
の定額減税

第1回春闘
集中回答日
3月13-15日
(連合要求5.85%)

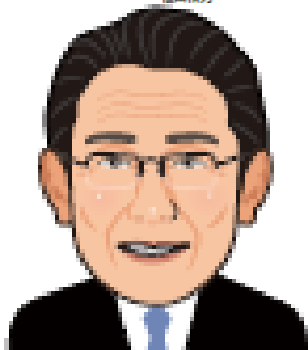
日銀引き締め
の主な副作用

- ①株安円高
- ②個人住宅ローン、企業向け貸出金利上昇
- ③中間所得層の自民党批判

作成：岡三証券



橋田和男



岸田文雄

ドル円膠着からの次の一手



政治が望むドル円相場は膠着・高止まり、か

○24時間365日、いつでもどこでも(介入できる)体制を構築している(2022年10月24日)



○災害同様、24時間365日何か起きたら対応できるようにしている(2024年2月14日)

(1ドル=円)



ドル円膠着からの次の一手



米雇用統計を控えた前哨戦データ

データ期間	予想	結果	前回改定値
2024年1月	888.5万人	886.3万人	888.9万人
2023年12月	871万人	902.6万人	892.5万人
2023年11月	885万人	879.0万人	885.2万人
2023年10月	942万人	873.3万人	935.0万人

1月JOLT指数(求人件数)は予想比ほぼ同じ

米労働省：JOLTS求人労働移動調査 (JOLTS Job Openings) ≒非農業部門の求人件数

データ期間	予想	結果	前回改定値
2024年2/25-3/2	21.9万件	21.7万件	21.5万件
2024年2/18-2/24	20.9万件	21.5万件	20.2万件
2024年2/11-2/17	21.7万件	20.1万件	21.3万件
2024年2/4-2/10	—	21.2万件	22.0万件
2024年1/28-2/3	21.9万件	21.8万件	22.7万件

事前予想に対しほぼ同じ

米労働省：新規失業保険申請件数

作成：岡三証券

ドル円膠着からの次の一手



岡三証券
OKASAN SECURITIES

2月米雇用統計は3月8日金曜日22:30

2月失業率予想: +3.7% (前回+3.7%)

2月非農業部門雇用者数予想: +20.0万人 (前回+35.3万人)

2月平均時給 (前月比) 予想: +0.3% (前回+0.6%)

(前年比) 予想: +4.4% (前回+4.5%)

2月米雇用統計のポイント

- ・ 1月同様に労働市場の強さが確認されれば利下げを急ぐ理由は後退する
- ・ 労働市場が弛緩していればインフレ圧力は低下に

⇒ 12日の米国の2月消費者物価指数 (CPI) の先行指標

⇒ 最終判断は3月のFOMCとパウエル議長の見解

⇒ 3月FOMCの据え置き確率95.0% (本日時点)

⇒ 5月FOMCの据え置き確率75.1%

⇒ 6月FOMCの据え置き確率24.1%

⇒ 7月FOMCの据え置き確率8.4%



作成: 岡三証券

ドル円膠着からの次の一手



2月米雇用統計を睨んだドル円上下限

(1ドル=円)

